

「勸善懲惡」って何だ。



狂言師
小笠原 匡

千葉県文化会館
開館50周年記念事業
見る、知る、伝える千葉
創作狂言

里見八犬伝 其ノ壱

エピソードワン

第一部

創作狂言とは

狂言「清水」

出演／(シテ 太郎冠者) 小笠原 匡
(アド 主人) 山下 浩一郎

第二部

創作狂言「里見八犬伝 其ノ壱」

作・演出／小笠原 匡

制作協力／千葉大学

出演／小笠原 匡 青山 郁彦 山下 浩一郎

若菜の会 千葉大生 狂言体験講座座参加者

平成29年12月10日(日)午後2時開演

千葉県文化会館 小ホール

全席自由2,000円 学生1,000円(税込)

※午後1時より座席引き換えを行います。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

インターネット予約 <http://www.cbs.or.jp/>

千葉県文化会館 043-222-0201

千葉県東総文化会館 0479-64-2001

主催：千葉県文化会館

(公財)千葉県文化振興財団

後援：千葉県、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、館山市教育委員会、南房総市教育委員会

運営：見る、知る、伝える千葉～創作狂言～運営委員会

助成：芸術文化振興基金

チラシデザイン：千葉大学文学部1年 椎名明日香

50th
Anniversary
千葉県文化会館



第一部	創作狂言とは 講師 小笠原 匡	狂言についての知識や演技方法を、実演を交えながら解りやすく説明します。
	狂言「清水」 しみず	流行の茶会に出ず清水（＝湧き水）を汲んでくるよう命じられた太郎冠者は、気が進まないことから、清水に鬼が出て襲われて、秘蔵の手桶も捨ててきたと嘘をつきます。主人が自ら取り返しに行くというので、慌てて召使いは一計を案じて…
第二部	創作狂言「里見八犬伝 其ノ壱」 エピソードワン	本作は、江戸時代の後期に曲亭馬琴によって著された『南総里見八犬伝』を原作とした創作狂言です。 愛犬八房の妻となった伏姫が自害し、八つの玉が四方に飛び散ってから数年。犬塚信乃は、父の死によって、足利家の宝刀村雨丸を受け継ぎます。その際、「孝」の字が浮き出た玉と、ぼたんの花の形をした痣も得た信乃は、引き取られた伯母夫婦の家で、自分と同じ形の痣と「義」の字の玉を持つ顔藏と出会いました。義兄弟の契りを結んだ二人でしたが、やがて信乃は、村雨丸を献上するために、許嫁の浜路を置いて旅立つことに… 不思議な縁に導かれるように集う、同じ玉と痣を持つ若者たち。物語の本格的な幕開けを告げる、創作狂言版八犬伝の第2弾です。



おがさわら ただし
小笠原 匡

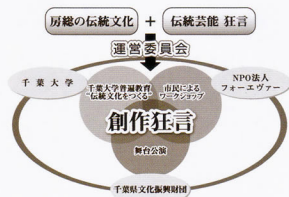
狂言方 和泉流 公益社団法人・能楽協会会員
日本能楽会会員 重要無形文化財総合指定保持者

1965年生まれ。初世 野村 萬（人間国宝）、故8世 野村 万蔵、9世 野村 万蔵に師事。狂言の大作「奈須と市語」「三番鬼」「釣狐」「金岡」「花子」を抜く。2006年より「見る、知る、伝える千葉～創作狂言～」をプロデュース、毎年千葉県の神話、民話、風習を創作狂言に劇作・演出。NHK大河ドラマ「義経」、金曜時代劇「出雲の阿国」芸能指導、朝の連続ドラマ小説「カーネーション」・「ごちそうさん」所作指導。2012年より桃山学院大学地域連携共同研究プロジェクト「中近世の日本とイタリアにおける仮面喜劇の生成発展と現代的実践について」にて毎年ヴェネツィア大学で狂言とイタリア伝統仮面劇コメディアー・デッラルテのシンポジウム、WS、公演を行う。2016年よりパリ日本文化会館にて年3回「伝統の継承」を企画プロデュース。現在、萬狂言関西支部代表、千葉大学客員教授。
ホームページ <http://atelier-oga.com/>

「見る、知る、伝える千葉～創作狂言～」プロジェクト ～古くて新しい伝統文化への取り組み～

房総に伝えられてきた民話や伝承をもとに、和泉流狂言師小笠原匡、千葉大学、千葉県文化振興財団、県民などで新たに創り上げてきた狂言の舞台です。千葉大学、NPO法人フォーエヴァー、千葉県文化振興財団で運営委員会をつくり運営を行っています。

これまでに「千葉笑い（千葉市）」「羽衣伝承（千葉市）」「鬼来迎（横芝光町）」「ヤマトタケル伝承（千葉県広域）」「八幡の藪知らず（市川市）」を題材に狂言を創作し、上演してきました。



◇連動企画◇

いのはなカルチャーコレクション

千葉の歴史講座

～里見氏と『南総里見八犬伝』～

南房総を舞台とする『南総里見八犬伝』について、初めての方でも分かりやすい講座を開催します。

講師／岡田晃司（館山市立博物館 副参事）

平成 29 年 11 月 22 日（水）

午後 2 時開演（午後 1 時 30 分開場）

全席自由 500 円（税込）